

看護部

4階南病棟

4南病棟は「脳卒中センター」として、脳梗塞・脳出血を中心とした脳疾患の患者の病床（20床）に加え、脳卒中科・脳外科・脊椎センター外来・脳血管造影室・CT室の介助（造影剤の注入前後の観察）を担っています。病棟20床・外来部門を併せ持ってセンター化として運営しています。看護師：22名、エイド：2名、事務：1名の計25名です。「現場の看護力（専門性）を高める」「教育体制の強化」「各自が部署での役割を認識し行動できる」「職員のやりがい感を高める」を病棟目標にして看護の提供を行ってきました。平均在日日数5.9日。急性期脳梗塞の患者に対し、7～10日間でリハビリ病院への転院が可能となっている中で看護師して、2次合併症（誤嚥性肺炎・褥瘡）を発生させないことを徹底し、統一した看護の提供により、26年度も褥瘡発生がなく経過をしています。病棟では勉強会係を中心に数ヶ月毎にスタッフからの意見を取り入れ勉強会を企画・運営し、勉強会を行うことができました。また院外への勉強会も積極的に参加する事を心がけ、患者の為にスタッフ1名1名がスキルアップを意識して、4南病棟「脳卒中センター」の看護の質の向上に向け取り組んで来ました。また日々の看護業務に関係あるテーマで、看護研究に取り組み業務改善に繋げ、その成果を学会で発表する事ができました。これからも「看護の質の向上」を念頭に病棟運営・スタッフ教育を行って行きたいと考えています。